

HANAMIZUKI

はなみずき

学報 vol.49

2019年

山陽女子短期大学

〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1
TEL(0829)32-0909 FAX(0829)32-0981

<http://www.sanyo.ac.jp>

発行責任者 石永 正隆

印刷 株式会社ニシキプリント



第56回 陽月祭を終えて

第56期 陽月祭実行委員会 委員長
人間生活学科 医療事務情報コース2年 沖 利音



今年も無事陽月祭を終えることができ、陽月祭実行委員一同、ご来場下さった皆様のご協力頂いた多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は例年とは違い、初の試みとして、一日のみの開催という形で陽月祭を行いました。慣れないことや新しいことばかりで不安がいっぱいでしたが、天候にも恵まれ、多くの方が楽しんでくださっている姿をみて、とてもホッとしました。

私たち56期は、44人という史上最多の人数で頑張ってきました。陽月祭に向けて準備をする中で、楽しいことばかりではなく辛いことや大変なこともありました。全ての感情を共有し、ぶつかり合いながら全力疾走してきました。このような素晴らしい1日を44人全員で作ることができたことを本当に嬉しく思います。

これからも陽月祭実行委員一同頑張りますので、来年の陽月祭もどうぞご期待ください!!

学科展示等

人間生活学科・専攻科

- ◇びょういんなんでもクイズ
- ◇タイピングゲーム
- ◇喫茶コーナー
- ◇病院管理研究会 (学会発表)



食物栄養学科

- ◇SAT システム
- ◇授業内容展示
- ◇SANJO RESTAURANT
- ◇食物バザー
- ◇加工バザー



臨床検査学科

- ◇血液学・病理学・微生物学・生理機能検査学





学外実習等

インターンシップ(病院実習)を終えて

人間生活学科2年 医療事務情報コース 大藤 珠美



私は岩国市医療センター医師会病院で、10日間の実習をさせていただきました。医事課や地域医療連携室、診療情報管理室など様々な部署で実習をさせて頂き、部署ごとの業務内容やどのような連携がとられているかなど、沢山の事を学ばせて頂きました。

私が実習中にとっても印象に残った事は、情報共有をすることが重要になってくるということです。実習では、入退院変動表の記録や、病棟カンファレンスに参加させて頂きました。このような取り組みは、病院の運営や患者さんを支援していくためにも必要な事であり、かつ信頼関係を築くためにも大切になってくると思いました。

また、1つの事に特化するのではなく視野を広く持つことが大切だと教えて頂きました。

私も様々な事に興味を持ち、物事を考えていけるようになりたいと思います。そして、実習をさせて頂く中で、将来についてのイメージや目標を持つ事が出来ました。

これからは、診療情報管理士の資格取得など、目標に向かって様々な事に挑戦し、頑張りたいと思います。

インターンシップ(企業)を終えて

人間生活学科2年 人間心理コース 中小城 くるみ



私は夏季休業中に、廿日市市にある「社会福祉法人 三篠会 ふれあいライフ原」にて4日間の実習をさせていただきました。動機は、将来の仕事について改めて考えた時に、料理に興味があることから「栄養士」として働きたいと考え始めるようになり、今回の実習で厨房全体の流れや栄養士の業務を実際に拝見し、再入学をしてもう2年間勉強するかどうかを判断する為に実習に行かせて頂きました。実習では、ノーリフティングケアや厨房、介護職員の体験をしました。厨房全体の流れや利用者様の状態に合わせた食事を作る工程やその補助、利用者様が普段どのように生活されていてどのように食事を取られているのか等多くのことを学ばせて頂き、とても貴重な体験となりました。初日はとても緊張しましたが、担当者の方々が優しく指導して下さい安心して実習に取り組むことが出来ました。このような貴重な体験をさせて頂き、温かく迎えて下さった実習先の皆様、利用者様には感謝の気持ちで一杯です。この体験を糧に、もう2年間「栄養士」になる為にしっかりと勉強していきたいです。

が優しく指導して下さい安心して実習に取り組むことが出来ました。このような貴重な体験をさせて頂き、温かく迎えて下さった実習先の皆様、利用者様には感謝の気持ちで一杯です。この体験を糧に、もう2年間「栄養士」になる為にしっかりと勉強していきたいです。

栄養士校外実習を終えて

食物栄養学科2年 栄養管理コース 岸本 真奈



私は、株式会社日米クックで栄養士校外実習をさせていただきました。実習では献立作成や厨房業務、残食調査等を学び、実際に栄養士の方の仕事内容を知る貴重な5日間となりました。特に印象に残っているのは衛生管理です。会社を出入りする時には手洗い・うがいをし、調理の際は常に手袋を二枚以上着用する等、衛生管理が徹底されていました。安心して口にできる美味しい食事を提供するという栄養士の方のプロ意識を感じ、食事を提供する側の責任の重さを学びました。また厨房業務では、ベルトコンベアの横に並び流れてくる弁当箱に食材を盛り付けました。想像よりも流れが速く、食材の向きや大きさに気を付けながらの盛り付けに苦戦しました。一人が遅れると全員が遅れ、作業が中断してしまいます。常に正確

さと共に効率の良さが求められ、チームワークの重要性を改めて感じる実習となりました。今回の実習で学んだことをしっかりと生かしていけるよう、日々努力していきたいです。

海外食生活事情に参加して

食物栄養学科2年 栄養調理コース 吉田 和佳奈



私は3泊4日で香港の海外研修に参加させていただきました。毎回の食事が驚きの連続でしたが、特に驚いたのが地元のマーケットです。高級食材であるフカヒレや日本では見かけない数多くの食材が、道路に面したお店で売られている様子に圧倒されました。また、香港の料理コンテストで多数金賞を受賞しているホテルの料理長の指導を受けながら飲茶を作り、とても楽しく学ぶ事ができました。

日本では体験できない地元の人や空気を感じる事ができ、その上に成り立っている食を味わえたことは貴重な体験となりました。また、食を学ぶことと同時に楽しみにしていた香港ディズニーランドでは、旅のお土産と最高の思い出を得ることができました。海外の食にふれることで日本の食を考える機会にもなり、貴重な研修旅行となりました。



ラオスタディーツアーに参加して

臨床検査学科3年 臨床検査コース 大田 桃佳



私は9月7日から15日までの9日間行われたラオスタディーツアーに参加しました。現地では、大学や病院、JICA ラオス事務所、パスツール研究所などを見学し、村への訪問もしました。大学では山陽女子短期大学について英語で発表しました。病院では主に検査室の見学を行いました。日本と同じくらいの設備でしたが、技術を十分に持つ人が少ないという現状を知りました。また、このツアーを通してラオスの食事や文化などを学ぶことができました。

このツアーでの反省点は、積極性と英語でした。見学の際、英語で質問する機会が多かったのですが、自分の英語に対する自信のなさから、なかなか行動に移すことが出来ませんでした。この悔しさをばねに英語の勉強を頑張ってみようと思います。

またこのツアーでは、海外で働く日本人の方からお話を伺う機会もありました。皆さん楽しそうに自分の仕事について語って下さいました。話を聞いているうちに海外で働くという事も将来の選択肢として考えるようになりました。ツアーに参加した事で今後、自分が何をしたいのか、できるのか考える際の視野が広がりました。



病院見学実習を終えて

臨床検査学科1年 臨床検査コース 岩本 優希



私は広島赤十字・原爆病院でいくつもの検査室を見学させていただき、各検査室の特徴や業務について、話を伺いました。まず、今回の見学では検査室によって臨床検査技師の仕事が全く異なっていることに驚きました。

多くの検査室のなかで、最も印象に残った検査室は血液検査室です。広島赤十字・原爆病院は他の病院と比べて血液疾患の患者さんが多く、1人の臨床検査技師が顕微鏡で見る標本の量が多いのが特徴だそうです。顕微鏡の近くには実際に多くの標本があり、多いときは1人で1日に

100枚近くの標本を見るのとことでした。

病院にはそれぞれ特徴があり、それらを知ることが重要だと思いました。

今回の見学を通して、幅広く知識を身につけておくことが必要だと改めて思いました。

後期の講義からは専門性も増すと思うので、苦手科目を作らないように勉学に励みたいです。



シスメックス見学を終えて

臨床検査学科2年 臨床検査コース 吉積 七海



今回私達は検査機器メーカーであるシスメックスという企業の見学に行きました。シスメックスは血液検査や免疫検査に用いる機械を開発、製造する企業です。今回は開発、製造から輸出までの過程の説明を聞きました。最新の検査機器は人の手がほとんどかからず、自分達に出来る事はあるのだろうかかと不安になりました。しかし、癌細胞の判定などの診断に関わる部分は臨床検査技師が必要であるという事だったので、責任を感じました。

病院以外の場所でも患者さんのために、多くの人が働いているのだと感じる事が出来、良い経験となりました。



臨地実習を終えて

臨床検査学科3年 臨床検査コース 下馬場 梨子



私は4月15日から8月1日までの4ヶ月間、呉医療センターで臨地実習をさせて頂きました。勉強面では理解が浅かった所や難しく感じていた所などありましたが、各部門でとても分かりやすく教えて下さり、自ら経験することで理解が深まりました。その他には、実際の現場の雰囲気や各部門での臨床検査技師の仕事内容などを間近で見ることができ、臨床検査技師は信頼される検査データを診療側に提出し診断を支えていくやりがいのある職業だと改めて実感しました。また実習の中で1番印象に残っていることは、生理機能検査部門で直接患者様と接するところを見学させて頂いたことです。例えば、心電図検査で部屋の温度は大丈夫か尋ねていたことがありました。ただ検査を進めるだけでなく、患者様への接遇を学び、いい経験になりました。この経験から、私は患者様に「歩み寄り、手を差し伸べる」臨床検査技師を目指したいと思っています。今回、実習で学んだことは将来自分がなりたい臨床検査技師像と、病院での臨床検査技師の役割を考えるととてもいい機会になりました。この経験を今後を生かして行きたいと思っています。

スポーツ大会

体育局長 福川 はるか (臨床検査学科 臨床検査コース 2年)



2019年6月21日にGLOBAL RESORT 総合スポーツセンター サンチェリーでスポーツ大会を開催しました。競技は午前にはバレーボール、玉入れ、午後には障害物競走、ドッジビーを行いました。全学科全コース17チーム対抗でこの中でもバレーボールと障害物競走がとて盛り上がりました。今年の1位は食物栄養学科Eチーム、2位は臨床検査学科Cチーム、3位は臨床検査学科Fチームでした。スポーツ大会の企画・運営は体育局が担当させて頂きました。企画・運営をしていく中で学生、先生方全員が楽しんで頂けるようなスポーツ大会にしようと体育局全員で競技決めやそれぞれの役割、時間をどのように使っていくかなど決めていく際になかなか上手くいかないことも多く、準備に手間取ってしまいましたが、先生方に手助けをして頂きながら、本番を迎え無事怪我もなくスムーズに楽しく、終わることが出来ました。ご協力くださいました皆様ありがとうございました。

本学の就職活動状況報告

就職指導部課長 西 一美

昨年10月9日に経団連の「就活ルール廃止決定」を受けてから1年。多くの学生・保護者に対して不安を与えた事が記憶に新しいです。しかし本学ではその影響も無く、今年3月卒業生の就職実績は全学科全コース100%、また専門就職率の平均は88.4%と非常に高い結果となっています。各専門コース毎の実績をご紹介しますと臨床検査コースが100%、医療事務情報コースが90.9%、栄養管理コースが87.5%、栄養調理コースが75%と本学で学んだ専門知識や資格を充分活かした就職となっています。現在、来年3月卒業予定者が就職活動でラストスパートに入っていますが今年3月と同様に5年連続就職率は100%、また専門就職率も平均90%に近づいており「専門就職に強い山女」として自信を持ってご報告できると思います。今後の就職・採用は緩やかに通年採用が増え、プロフェッショナルを志向する職務型業務での採用が増えると推測されているので、本学はそのニーズに強い大学と言えるでしょう。この状況が、継続出来るようサポートに努めて参ります。

卒業生 頑張ってます

早期が決めての就職活動

人間生活学科 オフィス情報コース 2019年3月卒業 篠原 瑠璃



私の就職活動は、自分がなにをやりたいのか考えるところから始まりました。

1年生の1月ごろに先輩方の就職体験報告を聞き、早めに就職活動を始めた方が良いとアドバイスがあり、報告会の後すぐに就職指導部に相談に行きました。相談していく中で、自分が得意なパソコンの知識や修得した資格を活かしたいと思うようになりました。

合同説明会と会社説明会に参加し、自分が働きたいと思う企業を探しました。そして、4月の下旬に当社の一次面接を受け、5月の中旬に二次面接、5月中旬に内定をいただきました。早めに行動したので少し余裕を持つことが出来ました。また、今私が望んだところで働けているのは、就職活動中に悩み事の相談や面接練習への対応をしていただいた先生方や友人のおかげだと思います。

就職活動は思ったより大変で辛いことがたくさんありましたが、友人の励ましや学んだことを糧に乗り越えることが出来ました。

夢が実現した診療情報管理士

専攻科 診療情報管理専攻 2018年3月卒業 福庭 彩加



私は、H30年4月から医療法人社団 うすい会 高陽ニュータウン病院に診療情報管理士として勤務しています。

診療情報管理室の主な業務内容は、DPC登録や診療情報提供書等のスキニングや、紙カルテの整理などを行っています。その他に私が担当している業務にはコーディング委員会の開催・資料作成、施設基準に関わるデータの算出も行っていきます。また、H31年4月から当院の電子カルテが新しいシステムに移行したため4月以降は各部署の登録業務のサポート等もしており、様々な業務に携わらせて頂いています。

日々の業務を淡々とこなしていくのではなく、自身のスキルアップに繋げていくよう多くの事に挑戦し勉強会等にも積極的に参加していきたいと思っています。勤務2年目という事で1年目よりは様々な業務に対応できるようになりましたが、まだまだ至らない点が多く各部署の方々にご指導いただく事も多くあります。

今後も多くの事を学び、様々な形で病院に貢献していけるよう業務に取り組んでいきたいと思っています。

2019年度オープンキャンパスを振り返って

入試広報部 秋道 浩

今年度のオープンキャンパスは、5月から9月まで毎月1回、計5回実施しました。5月は例年からの予想を上回る来場者があり大盛況でした。(最初はあわてましたが・・・) 初めて運営に参加する学生スタッフも多く、緊張した面持ちが初々しくもありました。

6月は昨年度好評だった卒業生の座談会を実施しました。社会で奮闘する卒業生の話を聞いて涙が出そうになったという保護者の声もありました。7月、8月は、県外からのバス動員や食物栄養学科による地域ショップとのコラボ弁当提供などがあり、参加人数もさらに増えました。高校生には、各学科でのプログラムで様々な実習を体験いただき、本学の学生と十分触れあっていただきました。9月は入試対策として、面接対策や志望理由書の書き方などもプログラムに入れました。受験が近づく高3生の真剣に聴く表情が印象的でした。

近年、高校生が大学を選ぶために活用するオープンキャンパスの役割は、大変大きくなってきました。内容を決める過程では、今までも紆余曲折ありましたが、本学の良さを知ってもらえるよう、今後も十分に検討を重ね実施していきたいと思っております。



2019年度「地方保護者会」開催報告

学生部長 鈴木 理

去る9月7日(土)、13:00より松江地区(松江市)、福山地区(福山市)、周南地区(周南市)におきまして例年どおり地方保護者会を開催いたしました。本学(廿日市市)近郊にお住いの保護者の方々には別時期に本学内におきまして学生の近況報告などさせていただいておりますが、遠方にお住まいの皆様にも参加の機会を提供するため、地方3会場を設けて毎年実施している次第です。

今年は3会場合わせて35組の保護者の方々に参加をいただきました。お忙しい中、当日会場へ足をお運びいただきました皆様にはあらためて厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様には、学生の学業成績はもとより、大学での活動の様子、就職を取り巻く昨今の情勢や本学の状況などに高い関心が注がれていると推察しております。斯様なニーズにお応えすべく、個別面談ではチューターもしくは学科教員が直接保護者の方々と学生を取り巻く学内や家庭での様子について、ざくばらんに情報交換させていただきました。今後学生指導をしていく上で、貴重な時間であったと実感しております。

なお、本学(廿日市市)での次回の保護者会は、来年3月20日(金・祝)を予定しております。年が明けましてから、あらためてご案内させていただきます。



卒業生 頑張ってます

利用者の方の笑顔が嬉しいです!

食物栄養学科 栄養管理コース 2018年3月卒業 篠崎 華那



私は山陽女子短期大学卒業後、社会福祉法人三篠会 ふれあいライフ原 の栄養士として働いています。主な仕事内容は、調理、盛り付け、配膳、洗浄です。

9月には特別養護老人ホームの利用者の方々が行う「昼食バイキング」を担当させていただきました。バイキングのメニューを調理し提供すると共に、そのメニューの中の1つである「だし巻き玉子」を実際に利用者の方々の前で作るという業務をさせていただきました。大きな不安と緊張がありましたが利用者の方々に喜んで頂けたのが嬉しかったです。とても貴重な経験をさせていただき、この経験でまた1つ成長できたのかなと思います。

これからも日々精進し、施設に貢献し、それが利用者の方々の笑顔につながられるように頑張りたいと思います。



臨床検査技師のステップアップを目指して

臨床検査学科 臨床検査コース 2019年3月卒業 川合 晏奈



私は山陽女子短期大学を卒業後、寺岡記念病院で臨床検査技師として勤務しています。今は心電図や脳波など生体検査を主に担当しています。直接患者さんと接するためいろいろな質問をされます。その時に正確にわかりやすく説明することが難しく、今の課題でもあります。上手く説明ができなかった時は調べたり先輩に聞いてみたりするなどして一つずつ克服していけるように毎日努力しています。

短期大学で過ごした3年間は講義や実習やアルバイトなどで毎日が充実していました。楽しいことばかりではなく大変なことも沢山あるということも学びました。その為今仕事で苦手なことが任された時も乗り越えていけているんだと思います。

今では、仕事をしていくうちにもっと勉強したいと思うようになり、来年放送大学に入学しようと思っています。患者さんのため、また病院のために活躍できる臨床検査技師を目指していきたいです。

第45回 日本診療情報管理学会学術大会 学生セッション in大阪

9月19日・20日 大阪で行われた学会において、医療事務情報コース2年生6名と教員が発表しました。学生達は、緊張の中にも堂々と発表いたしました。

夏休みを病院実習と学会のスライド作成に費やした学生達は、前日から大阪入りし、USJ でつかの間の夏休みを楽しみました。

演題 (共同研究者)

在宅医療の現状と情報共有への取り組み
愛媛県と全国のがん統計の比較とリスクファクターについて

大藤 珠美
岡本 和可子
(三浦 友希帆)
竹内 瞳・松本 紫秀
益永 歩実
水野 孝子

高齢者および障害者在宅支援のための情報管理
災害時における消防防災ヘリやドクターヘリの活動とその役割
お茶による予防医学の発展と利用について



中四国支部医学検査学会に参加して

臨床検査学科2年 臨床検査コース 藤山 真希



11月3日に島根県松江市で行われた、日本臨床検査技師会中四国支部医学検査学会(52回)学生フォーラムに参加させていただきました。

そこで私は、「臨床検査技師の未来」というテーマのもと、少子高齢化社会やAI導入による業務の機械化といった点に着目し、在宅医療の重要性や認定認知症領域検査技師の資格取得推進、地域づくり支援について自分の考えを述べました。また、他の発表者の話から、今後の課題としてコミュニケーション能力の向上が多く挙げられ、臨床の場で必要なコミュニケーションは、患者さんや他の医療関係者に情報をわかりやすく伝達する力である事から、学生の間から実習などを通して養うことが必要であると分かりました。

臨床検査技師を目指す立場として、今後何が必要になるのか、また学生の間で出来ることは何かについてみなさんと意見交換をすることができ、自分の考えの視野が広がる貴重な経験になりました。



日本食品科学工学会西日本支部合同大会に参加して

食物栄養学科2年 食品開発コース 山縣 歩美

10月12日、13日に佐賀大学で開催された食品科学工学会に5名で参加しました。「生鮮魚介類の自己消化と加工食品の可能性」というテーマで、夏休み前から研究に取り組み、まとめた内容を先生に発表していただきました。他大学の学生が、研究内容をよく理解し実験データを整理して発表されているのを見て、私自身がもう少し頑張らないといけないと思いました。私はマダイを分解して調味料のおいしさを担当していますが、しっかりデータをとって学内発表会に向けて頑張っていきたいと思います。

テーブルマナー講習会を受講して

食物栄養学科2年 栄養管理コース 米中 月子

私は、11月4日にホテルグランヴィア広島で行われたテーブルマナー講習会を受講しました。二年に一度行われている講座であり、テーブルマナーを実践で学べるという機会は貴重だと思いつく受講を決めました。

講座では、着席から食事の作法、退席までのマナーを美味しいコース料理を頂きながら学ぶ事が出来ました。料理をスマートに食べるために知っておくべきマナーを実際に行う事でより理解が深まり、友人達と所作を確認したり指摘し合ったりする事で互いに高め合い、実りある時間を過ごせました。

これからの人生で必ず役に立つ知識と経験を得たので、心に留めて活かしていきたいです。



ボランティアに参加して

臨床検査学科2年 臨床検査コース 有馬 日菜

私は2019年3月から廿日市市社会福祉協議会が主体となっている「あそびの教室」ボランティアに携っています。「あそびの教室」は障害のある子どもたちが学校や学年を超えてより豊かな夏休みの体験や仲間づくりを目的とした活動です。今回は「子ども喫茶」という活動に参加しました。

実際に活動して、笑顔の絶えないとても楽しい活動となりました。始めは緊張していた子どもたちも次第に緊張が解け、積極的にお菓子作りや飾りつけなどに参加していました。

約半年間、企画からこの活動に携わり、「障害」を持つ子どもたちへの見方が明らかに変わりました。楽しいこと、嬉しいことを感情に出すことができる、家族思いの子どもたちばかりでした。これからも、今回のような子どもたちのためになるような活動をしていきたいと考えています。

フードフェスティバルに出展して

食物栄養学科2年 調理コース 細井 麻鈴

今年のフードフェスティバルでは、「醤油カステラ」「ハチミツレモンのカップケーキ」「かぼちゃのソフトクッキー」を販売しました。試行錯誤しながら、かわいらしさや旬のものを取り入れて作りました。また、より多くの方に手に取って頂けるようポスターを工夫したり、珍しい醤油カステラは試食用意し、おいしさを伝えることにも力を入れました。想像していたよりも早くに売り切れ、喜んでもらえたことが嬉しかったです。